

依然として残暑厳しい日々が続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。県内でも新型コロナウイルス感染が随時報告されています。感染を防止するために、3密を避け、こまめな手洗い、マスクの着用を徹底しましょう。



Post-CC OSCEの中間報告会にて発表を行いました。

8月5日(水)に、医療系大学間共用試験実施評価機構(CATO)主催で、今年度のPost-CC OSCEに関する中間報告会が行われました。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、Zoom上での開催となりましたが、全国の医学部から多数の参加者がありました。本学からは医学教育センター教員および学務課担当職員が参加しました。

今年はコロナの影響で全国的に試験の実施が遅れているといわれますが、今回の報告会では、既に実施した7大学から、試験の運営や感染対策を中心に、工夫したことや苦労したことが順次発表されました。これらの情報を共有し、今後、実施予定の大学が参考にすることも報告会の目的の一つでした。

山口大学は7月18日(土)に実施した内容について発表しました。3密を避けることや、受験生の健康状態の確認等は他大学と同様な取り組みですが、特に本学が今回採用した『**オンラインでの医療面接**』は、他に類を見ない画期的な手法であり、しかも大きなトラブルなく運営できたことについては、非常に興味を持たれ、数多くの質問が寄せられました。報告会の質疑応答の大部分が本学に関係したもので、全国から高い関心を集めました。

オンラインで医療面接を行うための具体的な手順や必要な物品に関する質問について、一つ一つ回答していきましたが、それに加えて、教員や模擬患者さんが十分な準備を行っていたことや学生が事前の説明をよく把握して試験に臨んでいたことについても好意的な意見を頂きました。今回は、新型コロナウイルス感染対策のための特例措置としての実施でしたが、今後の医学教育で本手法の位置づけがどのようになるか、布石となる事例を提供できたと考えています。

本試験の円滑な実施にお力添えを頂いた教員および学生の皆様に改めて感謝申し上げます。引き続き、新型コロナウイルス感染対策に留意しつつ、学修を進めていけるよう、今後ともご協力をお願い致します。



臨床実習入門・臨床実技基本実習の学生向け説明会を実施しました。

9月8日(火)より臨床実習入門・臨床実技基本実習が約2ヶ月に渡って行われますが、9月1日(火)に学生向けの説明会を行いました。これらの実習は、臨床技能と態度を評価する客観的臨床能力試験(臨床実習前OSCE)にリンクように構成されています。基本的には、例年通り、実習型の授業として、

第1期 実習型授業(全10回)9月8日(火)～9月30日(水)

第2期 実習型授業(全10回)10月2日(金)～10月19日(月)

の予定で実施を計画していますが、今年は新型コロナウイルス感染対策により、各班の人数を減らし、1班あたり6~7人としました。実習型の授業を終えた後は、多職種連携教育・臨床推論基本演習の講義を10月20日(火)～10月30日(金)に行う予定です。

今年度の臨床実習入門・臨床実技基本実習では、新型コロナウイルス感染対策として、学生各自に毎日体温測定と健康状態の確認、健康観察記録への記載を求めています。毎回、健康観察記録を持参させ、指導医の確認の上で実習に臨ませる予定です。頭頸部診察、神経ステーションでは、口腔内診察の項目がありますので、**フェイスシールドの着用**を義務付けることにしており、基本的臨床手技(手洗い・ガウンテクニック)ステーションでは、**ガウンの使用枚数は、1コマにつき1人1枚**とし、無駄遣いを防いで、実習に臨ませる予定にしております。また、全てのステーションで**マスクを着用し、手指の手洗い・アルコール消毒を徹底**させ、新型コロナウイルス感染防止に努め、各自で感染防止の意識を持って実習に参加するよう、促しています。

今年度は、コロナ禍での実施ということで、例年と異なる点もありますが、学生の皆さんには、本実習を契機に積極的かつ自ら考えて解決する学修態度を身に付けてほしいと思います。



ご意見・ご要望等につきましては、医学教育センターへ
お願いします。 TEL: 0836-85-3747

E-mail: mec01@yamaguchi-u.ac.jp